

5-5 「東名高速道路の秘密探検！」 三好北中学校（愛知県）

実践の概要

テーマ	東名高速道路
対象とした社会資本	東名高速道路（東名三好インター、上郷サービスエリアなど）
学習のねらい（つきたい力）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の願いから生まれた「東名三好インター」に興味を持ち、それが地域の発展にどう寄与しているかを学ぶ。 ・東名高速道路が物流の面から愛知の産業を支えていることに気づき、円滑な物流を守るため、さまざまな工夫がなされていることを学ぶ。 ・「上郷サービスエリア」の見学を通して、『ヒトに優しい高速道路』をつくり上げるための配慮に気づき、よりよい高速道路をめざす提言をまとめる。 ・総合学習における基礎技術の習得をめざし、調査活動や発表などの方法を学ぶ。
展開の概要 ・右図に示す流れで学習の展開を行った	<p>気づく</p> <p>食品の産地を調べよう！</p> <p>・学区に高速道路が通っていてもこれまであまり意識にのぼらなかった生徒たち。まだ自分の近くを通っている高速道路自体には目がかないが、概念としての「高速道路」の存在が意識される。</p> <p>追求する 深める 広げる</p> <p>身近な「高速道路」で確認してみよう！</p> <p>・言葉として知っている「高速道路」と身近な「高速道路」とが繋がる。 ・身近な高速道路に生徒の意識が及ぶ。</p> <p>高速道路の秘密やサービスエリアの秘密を探ろう！</p> <p>・「円滑な物流を守る」高速道路に気づく。 ・「人に優しい」高速道路に気づく。</p> <p>まとめる</p> <p>未来の高速道路を考えよう</p> <p>・第2東名高速道路について調べる。 ・将来の高速道路について考える。</p>
実践経過	<ul style="list-style-type: none"> ・我々がふだん何気なく利用している高速道路は、生徒にとって「不思議の玉手箱」ともいえる魅力的な教材だった。 ・同じ場所を見学したにもかかわらず、生徒の関心はそれぞれの方向に向いており、追究するものが一人ひとり違っていたが、この点からも高速道路は総合学習の教材として適していると感じた。 ・高速道路を題材として、環境問題、自然科学、社会的弱者に対するノーマライゼーションなどさまざまな学習に発展していくことが可能であると思われる。 ・本実践のねらいである、社会資本を身近な、そして自分の生活に必要不可欠な存在として捉え、そのあるべき姿を模索する、という点に関しても成果が感じられた。
主な支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・東名高速道路見学に対する支援 ・出前講師 ・資料等の提供 等

実践報告/三好町立北中学校（愛知県）

～「高速道路」を題材とした総合的な学習の時間の取り組み～

『東名高速道路の秘密探検！』

指導者： 山北 淳

1 はじめに

本校は、昭和56年4月、町内に一校しかなかった三好中学校から分離して設立された学校である。教育目標を「心豊かで、仲間を思いやり、己を律して前進する生徒の育成」と設定し、国際理解教育を柱とする活動を行っている。

三好町は、昭和中期までは水不足が深刻な問題であり、町内の至る所に農業用のため池が存在した、稲作と養蚕を主要な産業とする農業地域であったが、愛知用水の建設に伴い、町の様子は一変する。町内の至る所で果樹栽培が行えるようになり、「柿・梨・ぶどうの三好」を町のキャッチフレーズにするまでに到る。また高度経済成長により自動車の需要が高まると、隣接する豊田市から工業誘致を行った。現在ではトヨタ自動車の工場4つ（三好工場、明知工場、下山工場と、高岡工場の半分）が町内で稼働しており、部品供給のための工場が多数存在する、自動車工業の町となっている。

町の中心地は役場などの施設を有する旧市街地、三好中学校区であったが、名鉄三好ヶ丘駅や三好丘ニュータウン、そして東名高速道路「東名三好インター」の建設により、本校学区に人口が集中するようになり、年々変化している。周辺諸都市からの流入だけでなく、県外からの転居者も多く、学区で生まれ育った生徒の割合が少ないことが本校の特色の一つになっている。

そのため、学区に対する愛着、郷土愛が育ちにくい土地柄ともいえる。本校では、これまで、地域の伝統芸能である三好太鼓を課外活動で行ったり、町の夏祭りで行われる「いいじゃん踊り」を体育祭で行ったりしてきたが、総合的な学習の時間の開始に伴い、1年の学習に地域学習を取り入れるようになった。学習の題材としては、猿投古窯郡、果樹栽培、自動車工業、祭礼などがある。国際理解の視点からは、自動車産業に従事する外国人労働者もあげられる。社会資本としては、かつて「塩の道」と呼ばれた国道153号線、その渋滞緩和のために建設された153号バイパス、東名高速道路などがある。

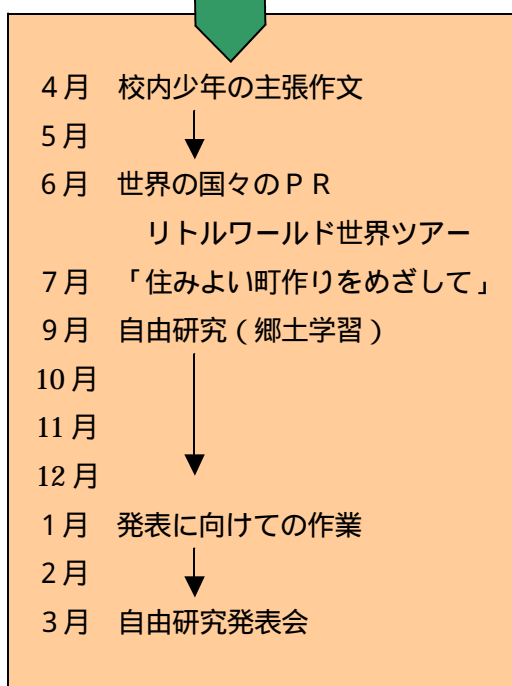
郷土の学習を通して、人と人との結び付きを知り、ともに力を合わせてよりよい社会を構築していこうとする生徒を育てていきたいと考えている。

2 年間カリキュラム

広い視野と思いやりを育てる「あいタイム」

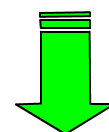
- 地域社会からの学びを大切に -

1年テーマ；人を知る（郷土学習）



2年テーマ

人から学ぶ
（職場体験学習）



3年テーマ

人と共に生きる
（国際学習）

北中総合学習『あいタイム』

「あい」…… I(わたし)の時間、そして愛
 人と人との関わりで大切にしたいもの
 「タイ」…… 体験を通して
 五感を働かせて実践的に学ぶ姿勢
 「ム」…… 夢
 夢を語り合える学習



国際理解教育を
核とする実践

③ 実践例： 第1学年4組 『東名高速道路の秘密探検！』

3 - 1 単元の目標

- ・地域の願いから生まれた「東名三好インター」に興味を持ち、それが地域の発展にどう寄与しているかを学ぶ。
- ・東名高速道路が物流の面から愛知の産業を支えていることに気づき、円滑な物流を守るため、さまざまな工夫がなされていることを学ぶ。
- ・「上郷サービスエリア」の見学を通して、『ヒトに優しい高速道路』をつくり上げるための配慮に気づき、よりよい高速道路をめざす提言をまとめる。
- ・総合学習における基礎技術の習得をめざし、調査活動や発表などの方法を学ぶ。

3 - 2 単元設定の理由

(1) 生徒の現状から

本校は学区に新興住宅地ができたことにより生徒数が急増し、学校規模が今なお大きくなっている中学校である。そのためこの地に生まれ育ったという生徒は少なく、転入生徒にとっては「我が町」という意識、言い換えれば「郷土愛」ともいえる感情は育ちにくいともいえる。

そこで本校1年生では総合学習の内容の1つに郷土学習を盛り込み、それぞれの学級が生徒の興味関心に応じ、それぞれの切り口から「我が町、三好町」についての学習を展開する。その中で、1年4組では「東名高速道路」をその切り口に設定した。

ただし、本実践では単なる郷土学習に終始することなく、それをきっかけに、我々の日々の生活が社会資本に支えられていること、そして社会資本の重要性について気づき、生徒自らの手で未来の社会資本のあるべき姿について模索させたいと考えた。

本校ではその学区の中央を東名高速道路が横切り、丘陵地にある校舎の窓からは東名三好インターを見下ろすことができる。毎日の通学の際に、高速道路下のトンネルをくぐってくる者もいる。そして休日には名古屋都市圏への買い物、あるいは県外への旅行などで高速道路を頻繁に利用してはいるものの、生徒の意識の中に「高速道路は身近なものである」という感覚は乏しい。

それは高速道路がもつ性格上、仕方がないこととも思われる。どこからでも好きなときにアクセスできる一般道路とは違い、高速道路は課金システムをとるため、インター以外からはアクセスできず、安全性確保のためフェンス等で歩行者の進入を防いでいる。そのため、位置的には身近にあるものの、生徒の意識の中にはけっして身近な存在とはなり得ないのかも知れない。

しかし、高速道路が物流の面から我々の生活を支えていることは紛れもない事実である。ひとたび高速道路による物流が滞れば、我々は食料をはじめ、生きていく上で必要な生活物資を手にするができなくなるであろう。また、日本の中心地たる東京、大阪の大都市から離れた名古屋の地にある中京工業地帯がここまで発展できたのも、短時間で人の

移動・物の輸送を可能にした新幹線、そして高速道路のおかげであろう。地域についての学習が進むほどに、高速道路が果たした役割が見えてくるものと思われる。同時に、小学校社会科の産業学習を通して、概念として知っていた「高速道路」と、これまで意識にのぼらなかったものの、自分の学区を通過していた「高速道路」とが1つにつながるのではないかと期待している。

(2) 活動の発展性

東名高速道路の学習を行っていく中で、生徒は東名三好インターについて興味を持つであろう。従来、生徒にとって身近な対象から迫っていくという手法がとられるが、本実践では生徒の実態から考え、知識として習得している東名高速道路全体の方が生徒にとってむしろ身近な存在であるため、あえてこの順で扱っていくことにした。

東名三好インターは地域の要望で計画され、地域からの出費によって建設されたインターである。トヨタ自動車関連の企業が多いこの地で、部品の搬送のためインターは不可欠だった。インターの学習から、工業によって潤うこの地域の特色が見えてくるものと思われる。

インターが高速道路の出入口として機能しているように、サービスエリアも高速道路の円滑な物流に寄与している。そのため、次の段階ではサービスエリアにも目を向けさせたい。上郷サービスエリアは規模も比較的大きく、利用者の利便性を増すため、改良が施されている。そのため、円滑な物流という視点以外に、ヒトに優しいという視点からも生徒にとっての格好の教材となりうるだろう。

最後に、現在建設が行われている第2東名高速道路も教材として扱いたい。それまでの学習の中で、生徒は東名高速道路という社会資本が我々の生活をどれだけ支えているかを学んでくる。その上に立って、未来の高速道路について考えさせたい。社会資本は文字通り我々社会の構成員すべての財産である。その維持管理や新たな建造に、我々一人ひとりが主体的に関わっていかねばならないはずである。高速道路の未来像を模索することを通して、主権者としての意識を芽生えさせられることを期待している。

(3) 教材の価値

東名三好インターは平成5年3月22日に供用を開始した。愛知県、名古屋市、三好町など6自治体と、民間18社で組織する第3セクター会社が建設負担した「開発インター」である。豊田・名古屋の両インターチェンジからの距離も近いこの地にあえて建設されたことから、地域の強い要望により建設が実現したことがわかる。

東名三好インターは、地域の発展のため、地域の要望により実現がめざされ、地域の負担により建設が行われた、まさに地域のためのインターチェンジといえる。しかし、地域住民の間にその意識は低い。地域を再発見させるため、生徒には格好の教材と考えられる。

他教科との関連については、社会科では地理的分野の地域調べ、歴史的分野の高度経済成長期、公民的分野での地方自治などの学習がある。また、トランペット方式と呼ばれるインターの構造は造形的にも美しいため、美術科や技術科での橋の立体模型づくりなどにも発展させることができる。また環境問題なども扱いうるため、理科との関連も考えられる。

4 単元展開の構想

< 単元構想の基本理念 >

高速道路を学ぶことにより、理解させたいこと
 高速道路による物流が私たちの生活を支えていること
 私たちが利用しやすいようにさまざまな配慮がされていること



にせまるために……

輸送園芸農業が、日本の「食」を支えている。

- ・スーパーなどで売られている食品が日本中のさまざまな産地で作られていることを調べる。
- ・消費地の近くで生産される近郊農業だけでなく、遠い生産地から運ばれてくる輸送園芸農業が私たちの食生活を支えていることを知る。

高速道路が輸送園芸農業を支えている。

- ・さまざまな産地からどのように食品が運ばれてくるか予想する。
- ・鮮度を保つために、食品の輸送に高速道路が重要な役割を果たしていることを知る。

物流がストップしたら私たちは生活していけない。

- ・もし高速道路が機能しなくなったらどうなるかを予想させる。



にせまるために……

物流が円滑に行われるように！

- ・渋滞の緩和、事故防止のために行われていることを知る。

利用する「ヒト」に優しい高速道路！

- ・高齢者、障害者、子どもにも配慮されていることを知る。

<単元の流れ>

食品の産地を調べよう！

輸送園芸に対する気づき

- ・『柿、梨、葡萄の産地 三好』 スーパーなどで売られているのは三好産？
「三好に他の産地の果物が入ってきている！」
- ・他の食品についてはどうだろうか？
「日本中から食べ物が運ばれてきている！」
- ・自分の興味ある食品の特産地と輸送の状況を調べてみよう。
「『鮮度』が命なんだ！」「高速道路が使われているんだ！」

学区に高速道路が通っていてもこれまであまり意識にのぼらなかった生徒たち。まだ自分の近くを通っている高速道路自体には目が向かないが、概念としての「高速道路」の存在が意識される。

身近な「高速道路」で確認してみよう！

言葉として知っている「高速道路」と身近な「高速道路」とが繋がる

- ・東名高速道路、三好インターはいつ頃つくられたのだろうか？
「車の普及とともにどんどん交通網が発達しているんだ！」
- ・本当に高速道路が使われているのか？ **交通量調査**
「実際に調べたら、ものすごい量のトラックが走っている！」
- ・一日にどのくらいの量の車が東名高速道路三好インター付近を通っているのか？
「どうして正確な数がわかるの？」
- ・もし高速道路の機能が止まってしまったら、どんなことが起こるだろうか？
「高速道路がなくては生きていけないんだ！」
- ・円滑な物流を守るためにどのような工夫がされているか？
「高速道路を守っている人の苦勞を知ってみたいなあ！」

身近な高速道路に生徒の意識が及ぶ。

高速道路の秘密や

「円滑な物流を守る」高速道路に気づく

サービスエリアの秘密を探ろう！

「人に優しい」高速道路に気づく

- ・**東名高速道路の秘密を探ろう！**
「今まで気づかなかったけど、そんな工夫がしてあるんだ！」
- ・**上郷サービスエリアの秘密を探ろう！**
「利用者に優しい配慮がしてあるんだ！」

未来の高速道路を考えよう！

- ・第2 東名高速道路について調べる。
- ・将来の高速道路について考える。
円滑な物流の視点 より早く、より安全に
利用者に優しい、という視点 特に高齢者、障害者への配慮
自然や環境への配慮という視点

5 実践の概要

柿、梨、ブドウの産地なのに……

社会科地理的分野の学習で各都道府県の特産物を扱った。特に三好の特産品であるブドウに関しては、山梨、福島などの産地があることを確認した。

そこで総合学習では、町内のショッピングセンターなどにどれくらい他県の生鮮品が流通しているか探らせることにした。休日を利用して学級の何人かが家族と買い物に出かけたが、地元愛知産のもの以上に他県のもものが出回っていることに驚いたようだった。

生鮮品は鮮度によって商品価値が大きく変わってくる。消費地に近い地域で生産されているのは理解できるが、どうしてわざわざ遠い産地から運ばれてくるのか疑問を持ったようだった。

日曜日に家族と三好のジャスコに行きました。三好は柿、梨、ブドウの産地だからきっと三好の果物がたくさん売っているだろうと思ったのに、よその県のもものがたくさん売っていました。三好の新鮮な果物が売っているのに、遠くから運んで来て売るなんて不思議です。



この後の授業では、保冷車の存在、高速道路による長距離輸送などに気づくことができたようだった。

三好インターっていつ頃できたの？

社会科の地域調べの学習で、昭和 50 年代のものを使って地図の読みとりを行わせた。そのため 1993 年に完成した三好インターは地図上に載っていない。そこから生徒の疑問が生じた。三好インターは 11 年前につくられたわけだが、中学 1 年生の生徒にとっては記憶に残っていない年少期のことである。そこでインターネットなどで、東名高速道路の歴史を調べさせた。

なぜ三好にインターがつくられたのでしょうか？

- ・三好にはトヨタ自動車関連の中小企業がたくさんあり、部品の輸送を早くするためにつくられたのだと思います。
- ・名古屋や豊田のような都会では車の行き来が激しく、出張などで使う人が多いから 2 つの都市の中間地点にインターをつくったのだと思います。
- ・豊田と名古屋のインターが渋滞しないようにつくったのかなあ。でも三好インターって渋滞が多いから違うかなあ。
- ・平成 5 年頃ってきっと三好丘に家がたくさん建ち始めた頃だと思う。三好で人口が増えて不便になったからつくられたんじゃないかなあ。これで豊田にも名古屋にも早く行ける。

こんなにたくさんの車が……

夏休みを利用して、希望者だけで東名高速道路の交通量調査を行ったが、それに参加した生徒が授業中に他の生徒が知らないような事実を次々に発表した。そのため他の生徒も実際に測定をやってみたいという声が高まった。



車がものすごいスピードで、しかも何台も何台も走ってくるので、とても疲れしました。本当に交通量調査をする人たちは1日中やっていると思うので、すごい集中力だなあと感心しました。



～スクリーンに投影～



～真剣な眼差し!?～



～集中!～



～目が回るぅ～

40人近い生徒が測定を行うには十分な場所がなく、安全面からも実施が難しいと思われた。そのため、ビデオで高速道路の様子を撮影し、プロジェクターで投影することにより、教室内で模擬測定を行った。機材は中部建設協会からお借りしたカウンターを使用した。実際の交通量調査で使われるものだと話すと、生徒の意欲は一層高まったようだった。

夕方の様子を映したということでもっと通勤の人が使う乗用車が多いと思ったけど、トラックが多いのでビックリしました。何を運んでるのかなぁ。

高速道路のおかげでトヨタ自動車が車を作って売ることができるのだと思いました。もし、高速道路が止まってしまったら、私たちが食べる野菜なども届かなくなってしまう。私たちの知らないところで、たくさんの人たちが高速道路のために働いているのだらうと思います。

知らなかった、サービスエリアって……

円滑な交通を維持するための人々の働きやさまざまな工夫に生徒の意識が及んだ段階で上郷サービスエリアの見学を企画した。この際に、もう一つの視点である「人に優しい高速道路」という側面にも気づかせたいと考え、この2つを柱とする見学・調査を行うことにした。生徒に気づかせたい事柄としては、以下のものを考えた。

- < 円滑な交通のために >
- 渋滞状況の表示板、交通情報のシステム、ETCシステム、緊急電話、路上の落下物とその回収方法 など
- < 人に優しい高速道路 >
- 障害者用スロープ、障害者用・子ども用トイレ など

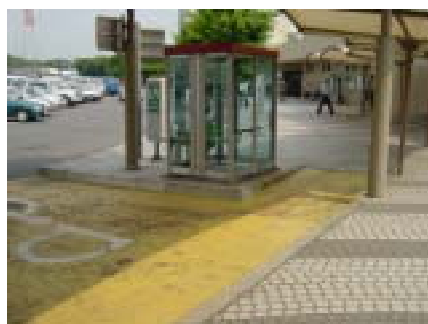


エリア内のウォークラリー形式で、施設内の工夫を発見し、そこで生まれた疑問をエリア内で働く人や随行して頂いたJH職員の方たちに質問・取材するという活動を実施した。これまで家族の旅行などで立ち寄った生徒も多かったにもかかわらず、こんなにもさまざまな工夫がなされていることに気づいていた者は皆無であった。実地見学の素晴らしさを改めて感じた。

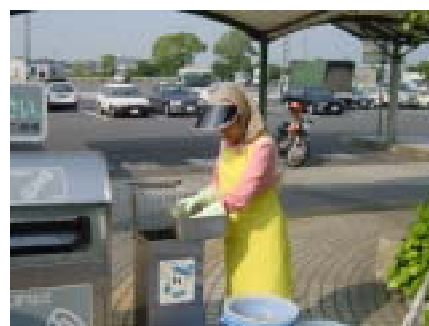
高速道路に落ちていた、車の部品やトラックに積まれていた物が展示してあった。あんなにも大きなものが落ちていたら、大事故が起こってしまうから、すぐに見つけて拾わないといけない。でも、どうやって？
学校に戻って詳しく調べたいと思った。



障害者が車を停めるスペースを見学したとき、JHの人から「ここからトイレまで歩いてごらん。秘密に気づく人もいるかな。」と言われた。2回歩いてみて、雨に濡れないようにずっと屋根がついていることに気づいてうれしかった。一緒にいたS君は車いすでも通れるように段差がないことにも気づいて、JHの人から「すごいねえ、よくそこまで発見したね」と言われていたから、ちょっと悔しかった。もっと別の秘密を発見したい。



私たちのグループはゴミの分別収集に目をつけました。あんなにも大きなゴミ箱が必要なのかなあ、と不思議に思っていたら、ちょうど掃除のおばさんが来ました。仕事の苦勞を聞いたら、きちんと分けて出さない人や外からゴミを持ち込む人が多く、少ない人数で1日にも何度も回っていると教えてもらいました。ルールを守らない人はいけないと思います。私も気をつけたいです。



～ 障害者に優しい自販機、発見～



～ 車椅子の人も押しやすい、低い位置のボタン～

生徒の目は次第に「人に優しい高速道路」という視点に移っていった。何気なく見ていた自動販売機の操作ボタンが低い位置に付いていることについても、「何か理由があるはずだ」と考え、自動販売機の前を行ったり来たりするうちにその意味に気づいたようだった。



～記念写真！～



～非常電話も開けてもらいました～



～子ども専用トイレにビックリ！～



～谷岡さんは『高速道路博士』～

見学を通して、さらに疑問が生まれ、学校に戻った後すぐにインターネットなどを活用して調べ活動を行った生徒がいた。また、休日に家族で上郷サービスエリアに出かけ、両親にエリア内の秘密を説明した生徒もいた。ようやく、高速道路が自分にとって身近なものだと実感できたようだった。

現在、調査活動のまとめを行っている。インターネットでさらに詳しい情報を検索したり、B紙にまとめ、発表の準備を行ったりしている。中には、もう一度、JHの方に質問がしたいという生徒も現れたため、メールや電話を使って生徒自身の手で質問を行わせたいと考えている。



～バスの車内は質問タイム～

こんな高速道路があったらいいな！

学習のまとめの段階として、未来の高速道路に対する提言を行いたいと考えている。10月の見学の際、建設途中の第2東名高速道路を車窓から見学し、説明もして頂いた。そのことがきっかけとなり、自分たちが大人になった頃の、未来の高速道路に興味を持つ生徒が多かったからである。

6 実践を振り返って

残念ながら、本実践指導案をまとめる時期に実践を最後まで終えることができなかった。実践の過程ではあるが、ここまでの経過を振り返り、考察を行いたい。

我々がふだん何気なく利用している高速道路は、生徒にとって「不思議の玉手箱」ともいえる魅力的な教材だった。見学の中で、生徒が特に興味を持ったのは以下の事柄である。

- ・日本列島がおよそ 3000 km であるのに対して、日本の高速道路網の全長は 7000 km。
- ・車線のセンターラインは 8 m で、ラインとラインの間隔は 12 m。あわせて 20 m で車間距離を確認できる。
- ・ハイウェイラジオのアンテナは、車線中央の植樹帯の中にあるチューブ状のもの。
- ・豊田の「豊」、京都の「都」など横線の多い文字は簡略化してある。

これらの事柄は、道路の維持管理をなさっている日本道路公団の方をも巻き込んだ学習であるからこそ生徒の疑問へとつながっていったと思われる。

さて、生徒の見学活動後の感想のいくつかをここで紹介してみたい。

初めて知ったことがたくさんあった。いろいろな工夫がしてあって、利用者が使いやすくなっていたのには驚いた。障害者のための設備、安全のための工夫……ふだんはあまり気にしていなかったけど、実際、なかったら困るものばかりだと思う。驚きづくしだった。

高速道路はよく使うけど、こんなにたくさんの工夫がしてあるなんて全然知らなかった。事故が起こらないように、また事故が起こっても被害を最小限にするため、いろいろなことを考えているなんてすごい。私たち女子の乗ったバスには ETC が付いていたけど、付いていない男子のバスと比べてものすごく便利だった。見学に行けて、高速道路のことをたくさん知ることができて良かったです。

同じ場所を見学したにもかかわらず、生徒の関心はそれぞれの方向に向いており、追究するものが一人ひとり違っていたが、この点からも高速道路は総合学習の教材として適していると感じた。障害者に対する配慮に関心をもつ生徒が多かったが、それ以外にも、それぞれのこだわりが感じられた。以下はその一例である。

子ども用トイレが楽しかった。「子どもトイレ」だけに便器、手洗い場、ドアと、どれをとっても、とても小さく、水道の蛇口の位置も低くしてあるという徹底ぶりだった。ってことは、普通のトイレだと小さな子どもは手が届かないってことですね。大人のための高速道路ってイメージがあったけど、子どものことまで考えてあって驚きました。

掃除をしているおばさんに質問できました。すごい量のゴミで、重くて大変だそうです。土日は朝6時から夜の9時まで働いているそうです。せっかく分別用のゴミ箱が用意してあるのに、分けて捨てない人もたくさんいるそうで、困っているそうです。駐車場にはポイ捨てタバコの吸い殻がたくさんありました。おばさんたちが4人がかりで汗を流しながら働いていたのに、マナーの悪い人が多くて、いくら頑張ってもきれいにならないように感じました。おばさんに申し訳ない気がしました。

桜前線のための桜の木が植わっていました。こんなところに何で植わっているのが不思議に思っていたら谷岡さんが「高速道路は日本中を通っているから、高速道路を走ればどの地方まで桜が咲いたかがすぐに分かるんだよ」と教えてくれました。来年の春、桜が咲く時期になったらテレビのニュースを気をつけて見てみたいと思いました。

これらの生徒の反応から考えて、高速道路を題材として、環境問題、自然科学、社会的弱者に対するノーマライゼーションなどさまざまな学習に発展していくことが可能であると思われる。

また本実践のねらいである、社会資本を身近な、そして自分の生活に必要な不可欠な存在として捉え、そのあるべき姿を模索する、という点に関しても、以下の感想から成果が感じられた。

日本全国で、高速道路が7000kmもあることにはビックリした。これだけたくさんあるとお金もずいぶんかかっているのだと思う。これから先、どんなところに、どれくらい作られていくのか知りたい。

高速道路とサービスエリアに行って、いろいろなことを知った。高速道路でもサービスエリアでも、いつも安全を考えていろいろ工夫をしていることがすごかった。私たちが大人になった頃にはもっとすごい工夫がしてあると思う。未来の高速道路はどうなっているのか、興味がある。

JHでは、高速道路の安全を守るためいろいろな実験をしていることが分かった。高速道路はすごく便利だけど、事故はどれくらい起きているのか知りたい。あまりにも多かったら、高速道路を検討し直す必要があると思う。

生徒の活動意欲を持続させながら、今後の探究を続けていきたい。また、本校のみの実践だけではなく、高速道路沿線の小中学校と連携して実践を行い、「未来の高速道路」についての提言を交換し合いたい。

東名高速道路の秘密探検



探検家の名前 () 番 ()

探
検
の
仲
間

探検の約束

- ・ **班員全員で行動!** (広いスペースなので、「迷子」になったら困ります。)
- ・ **駐車場の方に行かない!** (車の交通量が多いので、事故が心配です。)
- ・ **売店、レストランなどには入らない!** (お店の方の迷惑にならないように!)

タイムリミット **15 : 20** (噴水前に集合)

~ さあ、制限時間内に「サービスエリアの秘密」をいくつ見つけることができるかな? ~

見つけた場所を、地図に書き込んでおこう。

子ども用トイレ



噴水の近くにあるよ!

~ 感想 ~

桜前線



この地方の桜の開花時期はこの木の花の咲き具合で決めます。

~ 何で高速道路にこんなものが……? ~

渋滞情報



建物の中にあります！

どこで工事をしているか、どこが渋滞しているか一目でわかります。

~感想~

鉄棒!?



なっ、なんでこんなものが……

~予想してみよう!~

高速道路上の落下物



どんなものが落ちていたかな？

こんなものが落ちていたらどうことになる？

どうやって拾ったのだろう？

不思議なマーク？



いったい何のマークなんだろう？

~周囲の様子で気づいたこと~

非常電話



どんなときに使う電話だろう？

かけたらどこにつながるか、予想してみよう。

上郷ビジョン



~どんな目的で使われるのでしょうか？~

(どんな表示が映っていたかな。)

分別ゴミ箱



どうしてこんなに大きいのかなあ？

どうして分別して捨てるのでしょうか？

トンネル内の消火器の見本



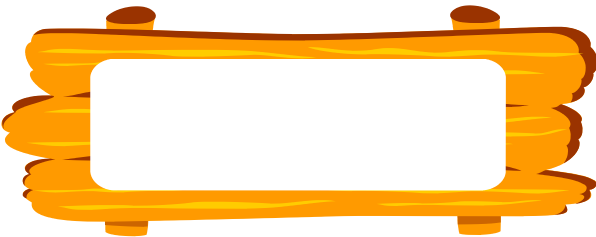
なぜトンネル内に消火器がいるの？

障害者用トイレ



障害者用駐車スペースから
トイレまで
実際に歩いてみよう！

～何か気づいたことはありますか？～



メモコーナー

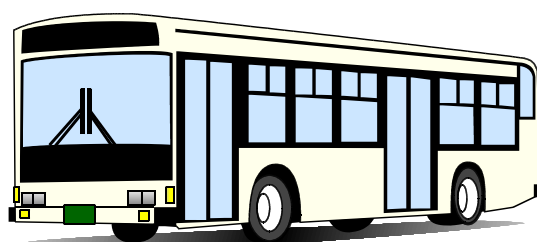
今日の発見を
書き留めておこう！

1 行きのバスの中での発見

2 上郷サービスエリアでの発見

3 帰りのバスの中での発見

4 不思議に思ったこと、調べてみたいこと



分からないこと、知りたいことはドンドン質問しよう。
国土交通省の方、JHの方、そしてサービスエリアの利用者の方……

しかし……今日の皆さんは『北中の顔』です。
みなさんの態度やあいさつで、北中全体が評価されます。

大きな声でさわやかなあいさつ、けじめある行動、時間厳守 期待してますよ！